

04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報

NO.758

2004/04/07

全国労働組合総連合

TEL:03-5842-5611

FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

共同デスク報告 ③ 9日、厚生労働委員会に首相が出席し審議

7日の厚生労働委員会は、10時から開会し、与党のみで質疑を開始した。日本共産党は出席したが質疑はせず、民主・社民は欠席した。自民党は安倍晋三幹事長を始め3名、公明党は冬柴幹事長初め3名が質疑をし、野党への抗議に時間を割き、同時に「100年安心」を強調するなど、政府案の自己自慢に終始した。

その後開かれた、与野党の国会対策委員長会議や議事運営委員会などの結果、8日に開催される本会議には、民主党は出席する。また9日の13:00からの衆議院本会議には、民主党の「年金対案」の趣旨説明を行い、自民党（10分）と共産党（5分：山口富男衆議院議員）が質問を行なう。

9日の厚生労働委員会は、14:00～17:00の3時間コースで開催し、最初の1時間は、小泉首相が出席し、一元化について質疑をし、残り2時間は会派一巡の質疑となる予定。日本共産党は佐々木憲昭衆議院議員が質疑を行なう予定。これで厚生労働委員会の実質審議が開始となる。

このことから見て与党は、最短距離で14日、16日、21日の委員会質疑と予備日の20日などを使って、審議を急ぎ、連休前に参議院へ送付することをねらっている。

「4・15年金スト」は、国会の緊迫した状況の下でたたかわれる。改めて、全組合員の参加と職場・地域での行動を広げ、「年金改悪法案」の廃案めざし、国会を運動と世論で大きく包囲するよう呼びかける。

厚生労働委員会傍聴について

- 9日 12:30 衆議院議員面会所に集合 全労連事務局が待機します。
13:00 衆議院本会議傍聴
14:00～17:00 厚生労働委員会
14:00～15:00 総理出席で一元化問題の集中質疑
15:00～17:00 全会派一巡の質疑

第4次国会座り込み行動に200人が参加 春のひざしを受け国会の銀杏並木は緑に芽吹いて激励

12:00～15:00までの3時間の第4次国会座り込み行動は、春のひざしのなか、イチョウ並木の芽吹きを激励を受け、200人が座り込みました。次回の座り込みは14日、21日、22日です。

12:15～13:00まで昼の集会を行ないました。以下その内容です。

【主催者あいさつ 熊谷全労連議長】今朝の新聞によれば、政府与党は、何がなんでも厚生労働委員会を開いて、とおせばいいという構えです。年金制度はあいついで改悪による改悪をくりかえされてきました。国は、国庫負担を2分の一にする約束を投げ捨て、掛け金はあげる、給付は下げる、少子高齢化社会で少しでも老後の保障になるような年金制度をも求める中で、こんなやり方では不信を拡大するのは当然である。くらしと生活を守らなければならないのに、私たちの税金の使われ方は、逆だち予算でありメスをいれなければならない。日本社会はもっと社会保障に力をいれるべきだ。4月から審議がはじまった年金制度改悪はなんとしても阻止する。連合もいろいろな行動に移っている。野党もこぞって反対に動いている。年金改悪阻止は可能になりつつある。また、米、英軍に協力する有事7法案も審議が始まった。みなさんと力をあわせて断固阻止しましょう。

【国会報告 山口富夫日本共産党衆議院議員】午前中から、衆議院予算委員会から審議が始まりました。政府は、無年金者や2～3万の低額国民年金で苦しんでいる人がいるのに、そういう人たちはいっさい無視である。驚いたのは、25条は国の責任を示しているのに、25条は自立自助であると言い切る人がいる。国の責任は大きく問われている。

審議では、厚生労働省から先に来た法案は差し置き、とにかく年金審議をぎりぎりまでおしよとしていく。そして、はじまったばかりなのに、4月21日に衆議院を通過させようと出口を決めようとしている。6時間コースの審議では、自民党は2時間30分、共産党は7分、馬鹿にしているのか！せめて30分～1時間でなければ質問は出来ない。年金改悪をストップするため、憲法25条を守るため住んでいる場所、職場から、国会内外から、声を上げていきましょう。

【連帯のご挨拶 武田昭雄日本山妙法寺】3・20の国際的な行動が、日比谷公園、芝公園で開かれ、国内、国外、共同して取り組むことはすばらしいことであると感じた。今週9日の金曜日は、20労組の皆さんと一緒に集会を持ちたいと思っています。憲法9条では戦争をしてはいけないといっているのに、日本政府は戦争に協力する法案をつくり、自衛隊をイラクに送り込んでいる。政府がアメリカの戦争に対して、協力するのはやめて、自衛隊を撤退させるべきである。スペインでも、政権は変わりました。次は、私たちの番です。今後とも戦争しない国づくりのためにがんばっていきたいと思います。

【小島 東京土建中央執行委員】国会報告を聞いて、共産党のたった7分間の質問時間だということに頭にきました。国会情勢は、政府与党の彼らの思うつぼの中で開かれている。私たちの怒りをぶつけていかないと、生活、命、平和を守れない。私たちの要求を担う政党が政権をとるようがんばりたい。力をあわせて世直しでガンバろう。平和を守り、年金改悪を許さないたたかいにともにがんばろう！

<決意表明>

【宮内としきよ 障全協副会長】裁判が国民のために役にたたない。無年金障害者が立ち上がった。3月24日私たちの訴えを全面的に支持されてくださったみなさんの勝利であると確信しています。国は控訴を決めたが、ぎりぎりになって本質を現した。さらにがんばっていく決意だ。イラク派兵反対、社会に私たちの声をうちたててがんばっていく決意である。

【服部昌二 全生連神奈川】学資保険裁判は勝利確定しました。ありがとうございます。喜びもつかの間、4月5日の日に生活保護費の支給が始まりました。70歳以上の高齢者は、老齢加算が3年間かけ段階的に廃止になり、支給も8万3850円から7万4000円に、月に一万円1割以上も引き下げられました。生活保護費、年金は絶対引き下げてはならない。生活保護費も、3年間で2万円もうちきられてしまう。さっそく自治体に要求をだし交渉をしようと思っています。がんばりましょう。

【宮田 国公労連中執】厚生労働省は、財界の意見を聞き入れ当初の意見とは違う18.30%まで保険料を引き上げた。財界は、「これ以上の負担はごめんだ。今は、折半だけど1円たりとも負担したくない」のが本音である。保険料は、国民、財界と事業主の責任。国民年金を守っていくためには、1人1人の力が大切である。私は、改悪が行われるたびに窓口で怒鳴られた。全厚生の職員がプライドがもてる職場であるために年金改悪に断固反対していく。全厚生職員は、1万2000人をこえる人に年金講師活動を行っています。4・15にむけて年金講師活動を行い、年金学習をすることによって、今回の年金改悪はどこがわるいのか、運動にもつながっていくと思います。

【松永 都教祖中執】今、東京では多くの小、中学校で入学式で日の丸掲揚、君が代斉唱の実施指針に従わない者の処分が行われている。都立指導主事が、横に来て「あなたは立たなかったですね」と現状確認して処分する。内心の自由を侵し憲法を蹂躪する。都教委の指導に従わず、立たなかったり、多くの歌わない子供がいるのは、先生の指導が悪いからだとの考えを押し付ける。子供たちの内心の自由までもうばわれている。年金改悪、憲法蹂躪もやめさせるたたかいをがんばりたい。

【佐藤光男 平和委員会】去年、武力攻撃事態法案が閣議決定施行された。つづいて出される有事7法案は恐ろしい内容になっている。アメリカの戦争に反対すれば、犯罪者だという状況のもとで、戦後、最悪の自衛隊派兵が行われた。今自衛隊では自殺者を出してメンタルヘルスに取り組んでいる。自衛隊を辞めたい者も多数でている。今度の有事7法案はアメリカの罰則で国民を動員させる。物価統制、労働組合つぶし、労働法適用除外と、国民には一切中身が知らされていない。反対する世論をつくりだし戦っていききたい。

本日署名は、年金・イラク・消費税署名など4万1000筆を国会に提出しました。

新宿西口の「年金改悪反対」街頭宣伝 シール投票実施

7日の16:30=17:30までの1時間、全労連と中央社保協の主催で、「年金改悪法案許すな」の宣伝行動と署名、シール投票を行ないました。全労連・中央社保協・国公労連・全教・生協労連・JMIU・自治労連・保団連・年金者組合が45名参加しました。チラシ・ティッシュを配布し、署名は85筆集まりました。また、国公労連が4・15年金ストで、全国で実施を呼びかけているシール投票を実施しました。「今回の改正で不安は解消されるか」は、イエスがゼロ、ノーが46、「財源の消費税問題」では、イエスが6、ノーが40、「税金は何に使ってほしいか」では、ダントツ1位は、医療・介護が23、次が年金10、教育・子育てが9、雇用3、不況対策3でした。大型公共事業・大企業・軍事費は、それぞれともゼロでした。